

同窓会会報

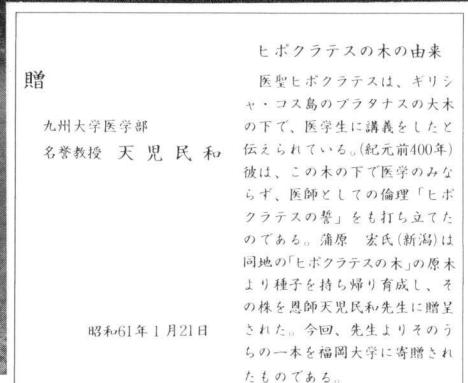
福岡大学医学部同窓会

第 7 号

平成元年10月1日



医学部前庭のヒポクラテスの木



ごあいさつ

第8回総会を終えて

会長 山崎 節（1回生）

今年も去る7月8日に、無事第8回福岡大学医学部同窓会総会を終える事ができました。今年も又雨にたたられた感もありますが、例年同様百名余りの会員と名誉会員である恩師の先生方に出席いただきました。

今年は春先より、5月上旬に開催されました「福岡大学医学シンポジウム」に対する援助のための寄付をお願いしたりしましたので、総会でも特別に議題として取り上げ、会員の御意見を伺う事にしていましたが、実際には経過説明のみで了承され、総会議事は通過致しました。寄付は予想をはるかに上回る二百名以上の会員に御協力いただき、感謝いたしております。

総会の特別講演は卒業生で初の「教授会メンバー」となった1回生で眼科学講座助教授の林英之君が短いけれどもウィットに富んだ話をしてくれました。

昨年より、総会に引き続き卒業年度別の会を行っています。それまで1回生を除くと定期的に同級生が集まる会は行なわれていませんでした。卒業して間もない会員にとってはまだピンと来ないかも知れませんが、今年は2回生（昭和54年卒）が卒業10周年を迎えてます。一方、この方式ですと1～2名しか出席しない

年度も実際に存在します。

以前の同窓会総会は福大病院の医局を基本として「縦割り系」で連絡を行ってきましたが、昨年から卒業年度別の「横割り系」がメインになりました。この転換には十分な準備期間がなかったせいか、極端に「縦割り系」が弱くなってしまいました。一方には同窓会創設に力を尽くした1回生から4回生位が徐々に医局を離れており、指導力も弱くなっている事も考えられます。理想としては、「縦」も「横」も同等に機能してもらいたいので、今後の活動の課題となるでしょう。

昨年の総会以降、半年間は週に1回の非常勤でした池田事務局長も4月より常勤として勤務していただき、新たに福大病院の内線電話も設置され、従来の外線専用電話と共に留守番電話も利用して常時医学部同窓会事務局に連絡できる体制となっています。連絡事項や問い合わせは事務局まで電話をいただきたいと思います。

今年の活動目標に名簿改訂を掲げ、早急な実現を目指しています。その為にも会員の皆さんの協力が必要です。上記のように事務局体制も整って来ましたので、是非御利用下さい。

同窓会事業報告

副会長 小金丸 史 隆（3回生）

福岡大学医学部同窓会も発足以来、既に七年を経過し漸く会としての運営の基礎もできつつあります。また会員数は1300名となり各地での地域医療に貢献されております。然しながら、まだまだ会員の同窓会に対する関心の低さは今年7月に開催致しました総会の出席状況（出席者102名）を顧みても明らかかなようです。また同窓会終身会費納入状況もあまり芳しいものではありません。

そこで、現在同窓会として運営している事業につきまして今後の活動計画も踏まえて報告致します。昭和63年度並びに平成元年度に行なった事業、また計画している事業として

1. 第1回福岡大学医学シンポジウムへの協讃
2. 生命保険代理店の開設
3. 卒業生名簿の改訂
4. 西医体への援助

以上、4項目について報告致します。

1. 第1回福岡大学医学シンポジウムへの協讃

本年5月に三好教授（現医学部長）菊池教授（元医学部長）の提唱で福岡大学セミナーハウスにて第1回福岡大学医学シンポジウムが開催されました。このシンポジウムの主題は「Recent Advance in Molecular Mechanism of Anion

Tranceport」として外国よりの招待講演と本学臨床検査医学濱崎教授の講演も行なわれました。

私共、同窓会としてもこのシンポジウムの成功とさらなる発展を期待して資金面のみでありますが援助する事が今年7月の総会で決議されました。先日、私共の主旨書を会員の皆様に送付致しましたところ、当初予定額300万円に対して約220万円の净財の寄付がありました。そこで、残り80万円を同窓会よりの協讃として福岡大学医学シンポジウムに寄付致しました。

2. 生命保険代理店の開設

同窓会の将来における諸策の充実を図るため福岡大学医学部在学生、並びに卒業生を対象として生命保険の加入を募っています。入会の手数料や集金手数料を活動資金の一部に充てています。

これは、三井生命保険会社と業務締約し、保険契約・集金の代理店として業務しています。開設以来、相当数の加入をいただき、順調に運営されています。

3. 卒業生名簿の改訂

昨年に発刊致しました名簿も多々の住所変更や誤植があり御迷惑をかけております。そこで今年中にも改訂版の発刊を予定しています。卒業して他大学、他病院へ入局された会員の消息は名簿でしか

わからないと思います。私共役員の至らなさが重々あることは承知致しておりますが、皆様方の協力なしでは名簿も作成できない訳です。

どうか、御協力の程よろしく御願い致します。

4. 西医体への援助

現在、在校生委員による西医体会費の徴収が行なわれていますが、同窓会の手で行なう案があります。本件に関して

は、讃否両論がありますが、在校生に対する同窓会のアピールとして、また意識の向上を目指しての活動と考えられます。

同窓会の大きな発展の一助として有意義な方針とも考えられます。

以上4項目の事業につきまして報告致しました。これらの事業につきましては、皆様方会員の御協力の上に成り立っております。今後の御協力の程、よろしく御願い致します。



第8回福岡大学医学部同窓会総会（福岡国際ホール）

同窓会総会をふりかえって

総会当番幹事 吉田 晋（9回生）

大学院生として大学に戻ってきてしばらくすると、内科の野元さんから電話がかかってきた。7月の総会は9回生が幹事なので手伝って欲しいとのこと。卒業後同窓会の仕事を野元さんや精神科の長谷川（旧姓坂本）さんに押しつけ、彼女らは臨床で、自分はBett freiであることを考えると断わることもできず引き受けすることとなった。

準備そのものは、同窓会室の池田さんが進めてくださり、私たちはその確認をする程度であった。

総会当日、私をがっかりさせたのは9回生の出席キャンセルの連続であった。患者さんのことはじめいろいろと理由はあるであろうが、私は友情を疑った。

傷心の面持ちのまま総会は始まり、特に問題なく進行し、眼科の林助教授の講演となった。その内容に各外科系での患者サイドからの手術致命率（数字は生還率であったと記憶している）の認識についての話があった。テレビ（ベン・ケーシーなど）では脳外科手術で無事生還できるのは30%ほどと思われているという数字を出され、眼科の患者さんは死ぬかもしれないなどとは夢にも思っておらず、見えるようになるのが当たり前で手術を受けられるので苦労するという一節があ

った。ベン・ケーシーは私が生まれた頃の話だったかなとか、各科それぞれ大変だなということを再認識しながらおもしろく聞かせていただいた。

懇親会になると、学生の時からこうした場面で頼りにしてきた第2外科の城戸君にすべてを任せてのんびりしていた。

結局私はこれといった仕事をしたわけではなく、回りの人達がみんなしてくれたという感じで総会は終わった。

幹事学年である9回生の参会が少なく、肩身の狭い、さびしい思いをしたが、今回のことに限らず我々の学年のあたりになると1、2回生の先輩方に比べ、母校に対してケールであるような気がする。まだあらゆる面で余裕がないでしかたがないのかもしれないが、卒業生であるからには、より若い卒業生や在校生の愛校心が少しでも強くなるように頑張らなければと思つたりした。

同窓会総会をふりかえって

総会当番幹事 平川勝之（9回生）

今年2月のことだったか、同級の野元先生と長谷川先生から、「医学部同窓会の役員を臨時にやってくれないか」と連絡があった。自分たちは転勤や転居で福大から離れるというのである。おそらく、いつも医局でゴロゴロしているヒマそうな脳外科の大学院生に白羽の矢があたったのであろう。

どちらかというと軽い気持ちで、同級、同僚の吉田君と引き受けたこととしたのだが、よく話を聞いてみると、なんと、今年7月にある総会の幹事をしなければならないことが判明した。

僕も吉田君も本学「有信会」の評議員でありながら、およそ同窓会総会と名のつくものには出たこともなく、いっきに重くるしい気持ちとなってしまった。

そうこうしているうちに3月となり、初めて役員会議に出席。右も左も分からず緊張する。

4月、九大へ出向することが急にきまり、吉田君に全責任がのしかかる。僕自身は大役をのがれることができると…、「吉田君、あとはヨロシク」というような感じで、内心ホッとしたのだが…。

6月、いよいよ総会も目前。事務をして下さっている池田氏の強力なバックアップで総会の式次第も決定。あとは各学年で、出席者数の確保のみとなり、昨年

の出席者数を少しでも上まわる様、電話攻勢をかける。

7月8日、総会当日。「受付」をおおせつかる。不慣れなため、手間どってしまい、出席された方には御迷惑をおかけしたことと思う。受付をしていたため議事には参加できなかったが、進行はスムーズだった様子である。そのあとで開かれた懇親会では在学中お世話になった諸先輩方にお会い出来た。

結局、出席者数は僕たちの努力がたりなかったためか、前年度を下まわる結果となってしまった。

しかし、今回、突然の幹事という大役を通じ、責任感と同時に同窓会というものが身边に感じられ、短期間ながらも他大学へ出向している身として一種のなつかしさを感じたのも事実である。

これは、僕自身にとっての成果である。今後の福大の発展のためにも同窓会の役割は大きく、会員の積極的な参加を若輩ながら希望したい。

昭和63年度収入支出決算報告

昭和62年度より繰越額	10,161,546円
昭和63年度総収入額	9,172,243円
同 総支出額	3,783,968円
差 引 残 額	15,549,821円

収入支出内訳

収入の部

項目	金額(円)	摘要	要
会費収入	6,955,000	35,000円 59人 20,000円 242人 5,000円 10人	2,065,000円 (12回生) 4,840,000円 50,000円
代理店手数料収入	1,983,909	65件	
名簿広告料収入	95,000	5件	
名簿売上収入	60,000	4冊	
受取利息	16,404		
雑収入	61,930	報償金 50,000円	総会残金 11,930円
合計	9,172,243		

支出の部

項目	金額(円)	摘要	要
給料手当	1,900,000	62年度未払分～50万円	63年度～140万円
旅費	7,000	支部総会4千円を含む	
事務用品費	103,972		
通信費	504,384		
印刷費	214,990	会報 192,000円	
事業費	413,000	卒業記念品代 93人分	
什器備品費	90,000	金庫	
設備工事費	134,600	電話加入権 72,800円 電話設置工事ほか	
公租公課	20,700	生保代理店 県市税	
会議費	92,922		
雑費	302,400	労務謝礼 26万円 税理士謝礼 3万円ほか	
合計	3,783,968		

残金処分

残金総額	15,549,821円
事業資金積立	10,000,000円
次年度繰越	5,549,821円

役員の一部変更

新卒の12回生の役員を含め、海外研修などで一部交代があった。現在の役員は下記のとおりである。

役員名簿

氏名	卒業回	
城戸 正喜	理事 1	(筑紫病院整形外科)
高良 由喜夫	1	(甘木病院)
朔 啓二郎	理事 1	(内科第2)
高木 忠博	1	増員(クリニック高木)
山崎 節	会長 1	(山崎医院)
江下 明彦	理事 2	(江下クリニック)
吉田 隆	副会長 2	(三信会・原病院)
飯田 博幸	理事 3	(整形外科)
小金丸 史隆	副会長 3	(放射線部)
田邊庸一	3	(田邊医院)
嘉数 徹	4	(外科第1)
田代研児	4	(九大・皮膚科)
仁位 隆信	理事 4	(内科第2)
占部 嘉男	5	(内科第2)
田中 伸之介	理事 5	木下昭生の後任(病理第1)
前田 純雄	5	(飯塚病院)
緒方 周	6	(精神神経科)
上村 精一郎	6	(内科第1)
東原 秀行	理事 6	宮本康嗣の後任(放射線科)
伊東 博巳	7	(泌尿器科)
井上 隆則	理事 7	(進藤病院)
増田 雄一	7	(病理第1)
植木 敏晴	8	(福岡市医師会成人病センター)
松岡 弘文	理事 8	(泌尿器科)
野元 淳子	9	(内科第2)
吉田 晋	理事 9	長谷川(坂本)倫子の後任(脳神経外科)
平川 勝之	9	増員(九大・脳研生理)

渕野由起	9	(眼科)
武末淳	10	(耳鼻咽喉科)
松前知治	10	(内科第2)
岡芳彦	11	(内科第1)
鬼塚美由樹	11	(眼科)
武末佳子	11	(眼科)
中島雄一	12	新任(泌尿器科)
広橋紀正	12	ク(健康管理科)
笠健児朗	12	ク(外科第1)
田口純一	監事	1 (三萩野病院)

会則・細則の改正

本年度の総会で次の改正が承認された。

1. 会則10条

運営のための収入は従来①会費、②寄付金、補助金であったが、一昨年、三井生命保険の代理店を開設したことに伴い、新たに「事業収益金」を加えた。因に昭和63年度の収益金は約200万円(別記)であった。

第10条 本会の運営は次の収入をもって行う。

- ①会員の会費
- ②事業収益金
- ③有志の寄付金、及びその他の補助金等

2. 会費に関する細則

平成元年度卒、12回生から年会費を廃止し、入会金1万5千円及び終身会費2万円のみとした。

会費に関する細則

本会の会費は、入会費1万5千円及び終身会費2万円とする。ただし、役員会の承認を得て、これを改正することができる。

第83回 医師国家試験合格者

平成元年4月8日、9日に行われた第83回医師国家試験に本学から137名が受験し、105名が合格しました。合格率76.6%です。

遅くなりましたが合格者名及びその研修先をお知らせします。

(福大病院の場合は科名のみ)

相 戸 伸 仁 (放射線科)	陣 林 伯 穎 (長崎大整形外科)
新 垣 元 (琉球大精神科)	関 幸 彦 (久留米大3内科)
有 野 晃 司 (熊本大2内科)	宗 祐 人 (筑紫病院内科・消化器科)
池 田 敏 郎 (鹿児島大産婦人科)	高 尾 岳 久 (精神神経科)
泉 浩太郎 (鹿児島大3内科)	高 松 哲 也 (外科第二)
巖 原 優 子 (鹿児島大2内科)	竹 中 幸 治 (近畿大整形外科)
岩 永 真 一 (外科第一)	田 中 達 朗 (筑紫病院脳神経外科)
上 野 恭 司 (筑紫病院脳神経外科)	田 原 尚 直 (整形外科)
榎 本 正 和 (内科第二)	為 末 敏 (外科第一)
大 田 和 弘 (内科第一)	張 敬 範 (整形外科)
大 濱 篤 (琉球大1内科)	岡 師 伸一郎 (皮膚科)
大 山 哲 寛 (麻酔科)	中小田 麻衣子 (小児科)
貝 原 良 太 (佐賀医大内科)	中 島 雄 一 (泌尿器科)
柏 村 晋 吾 (広島大2内科)	長 井 健 祐 (久留米大小児科)
河 原 一 雅 (外科第一)	永 井 哲 (外科第一)
絹 原 寛 士 (熊本大整形外科)	林 昭 太 (日赤医療センター)
木 村 一 雄 (整形外科)	原 弘 光 (泌尿器科)
金 哲 浩 (内科第一)	平 田 和 彦 (麻酔科)
金 義 昭 (脳神経外科)	廣 橋 紀 正 (健康管理科)
桑 原 元 尚 (外科第二)	吉 谷 幸 子 (山口大眼科)
検見崎 裕 (麻酔科)	平 敷 健 (琉球大)
古 賀 ま り (久留大4内科)	松 岡 由香里 (筑紫病院内科・消化器科)
小 松 千 代 (小児科)	宮 嶋 靖 士 (内科第一)
吳 義 憲 (脳神経外科)	迎 雅 彦 (麻酔科)
佐 藤 茂 (筑紫病院内科・消化器科)	護 山 健 吾 (内科第二)
志 賀 菜穂子 (大分医大1内科)	山 内 祥 弘 (久留米大1外科)
篠 原 徹 雄 (外科第二)	笠 健児朗 (外科第一)
諸喜田 林 (筑紫病院内科・消化器科)	幾 野 俊 英 (筑紫病院外科)

井 閔 貞 文	(愛媛大 2 外科)	平 井 正 朗	(精神神経科)
今 里 栄二郎	(久留米大形成外科)	福 田 有 子	(久留米大小兒科)
沖 田 光 紀	(内科第二)	別 当 尚	(聖徒病院内科)
加 藤 博 彦	(眼科)	新 井 孝	(精神神経科)
久木田 稔 正	(鹿児島大 1 内科)	松 添 大 助	(外科第二)
小 畑 八 郎	(鹿児島大内科)	矢 野 裕 子	(麻酔科)
古 賀 一 吉	(小兒科)	平 塚 俊 哉	(整形外科)
重 川 浩 司	(愛媛大産婦人科)	八 寻 正 文	(外科第二)
田 島 徹	(熊本大麻酔科)	吉 田 啓 也	(内科第一)
道 永 成	(泌尿器科)	佐 藤 哲 紀	(筑紫病院整形外科)
守 屋 豪 貴	(鹿児島大 1 外科)	猿 渡 雄 吉	(耳鼻咽喉科)
山 本 淳 也	(筑紫病院内科・消化器科)	白 石 素 公	(内科第二)
吉 田 幸 彦	(愛媛大 1 外科)	長 山 周 一	(鹿児島大 1 外科)
入 江 豊	(筑紫病院整形外科)	深 川 博	(佐賀医大外科)
桂 久 和	(鹿児島大整形外科)	中 川 繁 幸	(整形外科)
佐々木 道 生	(香川医大皮膚科)	三 浦 康 志	(泌尿器科)
下河邊 建 彦	(整形外科)	石 野 弘 之	(麻酔科)
棚 橋 慎 治	(昭和大形成外科)	中 道 俊 文	(眼科)
新 垣 香代子	(琉球大内科)	和 田 耕 一	(放射線科)
生 野 俊 治	(内科第一)	飯 塚 佳 彦	(内科第一)
奥 野 昌 司	(岐阜大内科)	竹 原 尚 之	(外科第一)
加 月 力之祐	(精神神経科)	原 忍	(内科第一)
後 藤 英 文	(整形外科)	吉 本 正 彦	(長崎大内科)
高 嶋 雅 樹	(九州大 1 外科)	成 富 徹	(整形外科)
豊 田 徳 明	(熊本大外科)		

【お知らせ】

＜終身会費納入のお願い＞

終身会費20,000円を未納の会員の方は早急に下記の口座にお振込下さい。

福岡銀行 福岡大学病院出張所
普通預金口座 No.18937
福岡大学医学部同窓会
会長 山崎 節

＜同窓会事務局開設のお知らせ＞

研究棟旧館1階事務室隣りに同窓会事務局を開設致しました。元医学部事務部次長をされておりました池田静夫氏に事務を担当していただいています。御用の方は下記へ連絡下さい。

福岡大学医学部内同窓会事務局
TEL 直通 092-865-6353
代表 092-801-1011
内線 2798

＜住居・勤務先等変更通知のお願い＞

転勤、留学、結婚等で住所、氏名や勤務先を変更される会員の方が多いと思います。ぜひ、同窓会宛にご一報下さい。会員への通知、名簿作成などに際し消息を追うことは極めて困難なのです。なお通知用のハガキを綴込んでいます。ご利用下さい。

＜名簿作成のお知らせ＞

新規名簿（平成元年度）を作成中です。全員、綴込ハガキにて御通知下さい。今回は新たに医局名が入っています。変更のない方は前回名簿と同じになります。

＜編集後記＞

平成元年7月の総会出席者は、僅か100名余でした。毎年の事ながら同じ顔ぶれの集いで盛会にはほど遠いものでした。

私共役員は準備のために数回の役員会を開いておりますが、努力の足りなさを痛感致しております。同窓会もまだやっと基盤ができた段階ですが、今後もより進歩のある活動を目指して行きたいと思います。

そのためにも会員の諸先生方をはじめ、多くの方々の忌憚なき御意見を頂きたくと思っております。どうぞ御一報下さい。

小金丸 史隆（第3回卒）

福岡大学医学部同窓会会報第7号

発行日 平成元年10月1日

発行人 山崎 節

編集人 小金丸 史 隆

発行所 〒814-01

福岡市城南区七隈7丁目45-1

福岡大学医学部同窓会

電話 直通 092-865-6353

代表 092-801-1011

内線 2798